

去る8月1日、仙台福祉プラザで開催されたセミナー・食事会において、26名の路上生活者、生活困窮者を対象としたアンケート調査を実施しました。結果、以下のことが明らかになりました。さらに詳しく分析し、今後の支援活動に生かして行きます。

1. 平均年齢：56才。
2. 路上生活歴平均：4年。10年近い長期の方々と数ヶ月間の短期の方々が極端に二分される。
3. 出身地：宮城県内50%、宮城県を含む東北各県73%、その他27%
4. 定額給付金を受給しましたか？：した52%、していない48%。していない理由-住民票がない。住民票が職権消除されている。その他。
5. 現在の体調はどうですか？：良い70%、悪い30% 足腰が痛い。身体中が痛い。怠い。糖尿病。高血圧。精神的パニック。
6. 現在不安なことがありますか？：金がない。現在仕事をしているが年をとって体がきつい。前歯が欠けた。金がなく食べられない。生活全て。
7. 行政やNPOへの要望はありますか？：土曜の清掃アルバイトの回数を増やしてほしい。生活保護申請の際の査定が厳しい。路上生活者のための居場所や食事の機会をもっと増やしてほしい。支援を継続してほしい。書いても何も変わらず無駄だと思うのでいいです。
8. 新型コロナウイルス感染症で心配なことがありますか？：検査を誰でも受けられるようにしてほしい。コロナ収束を願う。手洗いや消毒を心がけたい。感染しないよう人混みには行かないようにしている。感染してしまうことさせてしまうことが不安。

以上。